



日刊日曜日 日休月一ヶ月廿五 郵税十五錢一部二錢 廣告料一行四十錢 發行所 平野町三三 牛谷政喜

座講識常 エキセブションは例外 または格外或は除外例 と云つたもの、謂で極 端に片寄つた人、偏激 な變り者を指してエキ セントリックと云ひ極 端者、激論者をエキス トレミストと呼んで

平町と平窪の懇談 合併に相當接近か

平橋の開橋式が取りもつ 来る二十六日の會同

平町の市制施行に合併を交渉 又反対側一部が語る平町との 中である平窪村との懇談會は 合併によつて淳朴なる青年子 來る二十六日雨村の主催す 平橋の開橋式當日各有志の 會同を好機會に平窪村の鯨岡 鏡泉で開催隔意なき意見の交 換をなす筈であるが平窪村に 於て反對を唱へる約半数と云 はれるものゝ意向は大部分合 併後の擔税を氣にされてゐる ものゝ如く之れに對して平町 側では同村の現在擔税額より 増加する筈でない事情を説き

料率引下げ途上に 火の用心の警告

此際火事が出来たら大障害 平町一般市民の緊張

平町に於て熱心な運動を続け た火災保険の料率引下げは過 般火保協會代表の視察調査を 受け上水道の完備並びに水道 消火栓の威力及び自動車ポン プ敷台を備へる消防組の優秀 なる訓練と各町火防組合の整 備それらに屋上制限の行き届い てゐる等の諸條件が漸く認め られて今回こそは料率引下げ の實現を見るものと云はれて いるが千分の十一と稱する現 在の高料率を千分の七となれ ば同町の火保契約高を一千萬 圓として一ヶ年四萬圓の掛金

理事再選

井上平組頭

平消防組井上茂作氏は本縣消 防協會創設以來の理事を続け てゐるが此の程福島市警察署 樓上に開かれた縣下三十八名 の代議員によつて再選する理 事九名の改選に重ねて再選さ れた

火防組

青年團聯合

平町火防組改組 平町の聯合火防組は今回平青 年團聯合火防組と改稱し此の 總會を開催役員選舉を行つて 左記の如く決定した

天候の回復から 米價次第に落調

昨二十一日の俵米共販相場 前日に比し十五錢落

石城郡販賣聯合會に於ける昨 二十一日の俵米共同販賣は總 量五百五十五俵の出荷で商人 多數の競争入札あつたが其の 結果左記相場で取引された前 日に比較せば平均して一俵に 付き十五錢落ちである尙俵米 價は天候が順調である限り茲 當分上値はなからうと云はれ てるが昨年の同期に於ける 十一圓五錢に比すれば實に一 圓廿錢以上の高値である

四十男の家出

栃木縣太田町の寺町蠶業 根本源太郎長男保友(元)は去 年六月三十一日無断家出した が同人は石城郡内郷村の宮澤 小田浩方に潜伏してゐるらし いと今二十二日實父から平野 町に搜索方を頼出た

刻み煙草を 巻く道具

専賣法に抵觸す るので取調らる 平町三丁目十字路に於て數 日前から愛煙家に恵まれたる

新購の自動車ポンプ

來廿九日頃到着か 平消防組夏季演習を兼ねて 來月一日頃その披露

平町に於て増備される新購入 の自動車ポンプは目下擬裝中 のので其の下檢分の爲め今二 十二日部長鈴木彌太郎、會計 部長三井富吉兩氏上京したが 警視廳の規格検査を経て六千 五百五十圓の最新式の威容を 平町に運ばれるのは來る二十 九日頃になるらしく消防組で は此の披露式を兼ねる夏季演 習を目下計畫中であるが同日 取は大休來八月二日頃の模様 である

有功章

小名濱の大平氏に

石城郡小名濱町の大平勲氏は 帝國水難救濟會の事業を協賛 し功勞特に顯著の爲め今回總 裁官殿下から第二等有功章を 贈與永く其の名譽を表彰さる

難波船の 救助表彰

小名の渡邊由藏氏

石城郡小名濱町の渡邊由藏氏 は本年四月二十五日茨城縣多 賀郡平鴻の沖合に於て漁撈中 の同縣大津町横山周吉外三名 が荒天の爲め難波したのを見 て自己の危険を省みず怒濤と 闘つて遂に前記三名を救助し た功により金一封を添へて本 縣知事から表彰された

ラヂオ体操に八 萬五千六百人余

來る八月一日から平町内各小 學校に於て行はれるラヂオ体 操が其うでない部分に至ります

暑氣と戦ふ 二時間奮發

從來の型を破つて 平町役場では毎年昨二十一日 から八月三十一日まで毎日午 前八時出陣正午退陣を常とし たが本年は納税その他一般事 務に關し町民に便宜する爲め 午後二時まで就務すると

能狂言

泉流宗家の 來月九日平第三校で

平町に於ける謡曲同好同好會 生、觀世、喜多會聯合の主催 する泉流宗家狂言能大會は來 る八月九日第三小學校講堂に 於て開催されるが紫詠並びに 仕舞數番ある筈で各流自慢の 出演あるため練習中であつて 當日は大入滿員の盛會である だらうと

利害相反する 堰の上下

堰守を置いて 貰ひたい陳情

石城郡警崎村の下船尾地内に 設置される藤原川の萬年堰は 同河川の改修で從來の土堰を 自動回轉堰式に收設されたが 降雨時の増水に當り堰の開放 が適當に行かぬ爲め下流方面 の玉川村大字住吉、野田方面 と上流地の警崎村下船尾とが 利害相反するので堰の開閉を 適當にする管理者を置いて欲 しいと昨二十一日關係地代表 が平土木監督所に陳情今二十 二日小林所長は實地調査の爲

自殺を企てた 神經衰弱

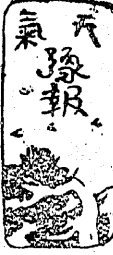
湯本町で捕へられ 目下平野に保護中

石城郡川前村の川前坂木屋 館方に去る十七日から投宿中 の男が昨二十一日朝に至り座 敷内に自殺するとの遺書を置 いて行方不明となつたので届 出でと同時に平野の手配捜査 により同日夕刻郡内湯本町を 徘徊してゐるところを取押へ 目下同室に保護されてゐるが 同人は横濱市鶴見區末吉町九 四九自動車工業社の職工で茨 城縣鹿島郡白鳥町生れ管谷信 雄(三七)で神經衰弱を患ひ死 を圖るに至つたものであると

青果市況

平中央青果卸市場(調)

青物	高値	安値
玉菜(一貫)	三〇〇	二〇〇
胡瓜(一本)	三〇〇	二〇〇
新牛蒡(一貫)	二〇〇	一〇〇
茄子(百ヶ)	一〇〇	八〇
馬鈴薯(一貫)	二〇〇	一〇〇
牛蒡(一貫)	二〇〇	一〇〇
丸茄子(百ヶ)	一〇〇	八〇
長茄子(百ヶ)	一〇〇	八〇
トマト(一貫)	二〇〇	一〇〇
人参(一貫)	二〇〇	一〇〇



今夜は南の風、晴 明日は南東の風、晴時曇一 (小名濱測候所)

産業方面

晩秋蠶の 稚蠶桑園

春蠶が終つて稚蠶家は晩秋の作柄安定に萬全を期さうことに心を砕いてゐるが昨年の同登に各地に少なくなかつた違作の主なる原因と云はれたものは晩秋稚蠶用桑が適當に得られなかつたことにある、そこで東京府立立川蠶業試験場では簡単に出来る稚蠶用桑園の設置法を左記の如く教えてゐる、

稚蠶桑園にあてる桑園は彼岸切桑園または五月中に伐採收穫を終つた普通桑園、桑の品種は改良戻し一潮改良早生十文字等なら特によろしく、土地は早越多濕に陥らぬ風害のない日當りのよところ、面積は掛立卵量十グラムに對して一畝歩あれば三輪中頃まで收穫出来る、仕立法は發芽後適宜間引して一株中強力な六、七芽を殘し七月二十五日頃(晩秋登掛立九月一日として三十五日前)次の長さに摘梢し再發芽した先端の二、三芽を伸ばして一葉摘みとする(イ)彼岸切りした桑園、株頭より二尺五寸乃至三尺で摘梢これは冬期側枝を切拂つて翌春稚蠶または三、四齡用となし得る、(ロ)春登期中伐採した桑園株頭より一尺五寸乃至二尺で摘梢これは翌春彼岸切とする、肥料は肥培の十分ゆき届い

た特に堆肥を多用してある桑園を換ふことが肝要、六月初旬反當り二、三百貫の完熟した堆肥を敷込み追肥として六月下旬頃人糞尿二百貫位に過燐酸石灰十貫程度を混合稀薄して使用するればよい、注意、桑葉充實を圖る爲め摘梢下部の摘葉を行はな(元)

ワイシャツ

ポイル ¥ 2.30
麻 ¥ 2.40

1937年型流行手編製

兼用ネクタイ

毛と絹交織 ¥ 2.50
本 絹 ¥ 3.00
本 絹 ¥ 3.30

スペイン G.H.N 元詰

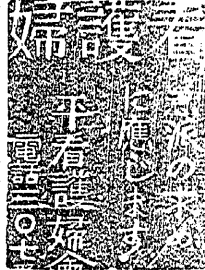
ゴルフポートワイン

甘味葡萄酒 1.10

御婦人の方には少し水を加へて召し上ると風味一そう佳良です

(平2) 西村屋薬舗 (電3)

正確なる寒体温計
計量器指定販賣
山野邊藥局
平町五丁目角



レストラン サロン

食事 喫茶 酒場 兼ねた

平田町 電 352

産科、婦人科 根本醫院

入院隨時 手術室完備

根本 貞雄 根本 次郎

平町南町五二 電話三四番

お醤油は ヤマフル

醤油 味噌 鱈節食料品

山崎合名會社

明治生命磐城代理店 山崎與三郎

電話 本営業部 二七〇番

最も有利な利殖法

(目科業營)

- 債券買賣
- 擔保貸付
- 債券による利殖
- 當籤の無利調査

横山商店債券部

平町仲間町 (申込次第詳報早上)

牛も豚も優良品の自慢

肉の御用命は 三三三屋

油問屋 關内油店

支店 支那山形市曙通 電話長三二八

支店 支那長岡市本町 電話長三三三

支店 支那新潟市 電話長三三三

支店 支那平野町 電話長三三三

三拍子揃つてゐる店

能澤の 自轉車代理店

親切・丁寧・迅速

馬門自轉車店

洋服は 高島屋

注文並に既製品 在庫品

高島屋洋服店

平町二丁目 電話三八六

和洋銅鐵、金物問屋

毎度御引立を蒙り御厚情深謝致します、今回當店に於て貨物自動車部を新設し金成自動車部を專屬として三十五年式新車を以て貨物一般の運輸に従事致しましたから倍舊の御用命に御利用の程を偏へに願ひ上ます、

鐵道、貨物一般

三取扱 清宮運送店

貨物自動車運輸 電話二六七番

金成自動車部 電話二六七番

金成自動車部

親切 迅速 安全 第一

貨物自動車運輸 電話二六七番

金成自動車部 電話二六七番